



大浜第二病院 広報誌

発行

おもととよみの杜 大浜第二病院
〒901-0215 沖縄県豊見城市字渡嘉敷150
TEL 098-851-0103
FAX 098-851-0200
URL : <http://www.omotokai.or.jp/ohama2/>

おもと杜

2019年
春 号



とよみの杜の山沿い地区や、庭園内の花壇では、ブルーサルビアの青い花が鮮やかに咲いています。ブルーサルビアは、北アメリカに分布するシソ科サルビア属の多年草です。分布域はアメリカ南部のテキサス州、ニューメキシコ州、メキシコにあり、牧草地や草原、森林の縁などに自生しています。日本には昭和初期に渡来しました。

ブルーサルビア(サルビア・ファリナセア)や赤いサルビア「スプレンデンス」は、もともとは原産地では宿根草ですが、耐寒性がないため、日本では一年草として分類されています。開花期間が5月～10月で、花は初夏から秋の間、次々と開花します。葉は楕円形から卵形で対生し、縁にはわずかに鋸歯があります。

茎の頂部、または上部の葉の付け根から花序を出し、青色から紫色の花を咲かせ高さは60センチほどになります。ブルーサルビアの花言葉の「永遠にあなたのもの」は、花期が長いことが由来です。サルビアは、初夏から晩秋までの長い間にわたり咲き続けるため、「永遠にあなたのもの」と言われています。

花言葉 尊敬 知恵 良い家庭 家族愛
ブルーサルビア 「永遠にあなたのもの 全て良し」
赤いサルビア 「燃える思い」

環境整備課 銘苅春苗
平成31年4月11日

大浜第二病院 基本理念

①社会貢献

患者様・ご家族の安全、安心、納得、満足頂ける医療を提供する。

②人材育成

医療人としての心・知識・技術を育み、日々研鑽を積む。

③全人間的医療

人の尊厳と自己決定の原則に基づき、その人にふさわしい生き方を共に考える。

④在宅支援

地域に根付いたりハビリテーション活動を開催し、患者様の自立支援と在宅医療を推進する。



最近、よく耳にする細菌にピロリ菌があります。ピロリ菌は正式にはヘリコバクター・ピロリと言います。以前は、胃は、胃酸と言う強い酸があるので、細菌は住んでいないと考えられていましたが、1983年ロビン・ウォーレンとバリー・マーシャルという2人のオーストラリア医師によって発見されました。50歳以上の日本人の80%にピロリ菌を持っていると考えられています。ピロリ菌の感染経路は、まだ、はっきりわかっていないが、口から口、口から糞、飲料水からの感染などが考えられています。ピロリ菌は、ほとんどが幼少期に感染すると言われています。大人になってからの日常生活、食生活ではほとんど起こらないと考えられています。なぜ、ピロリ菌が、話題になるかと言うと胃潰瘍の患者さんの7割、十二指腸潰瘍の患者さんの9割がピロリ菌を持っていて、ピロリ菌を治療すると、一年後の再発率が、胃潰瘍で65%、十二指腸では80%だったのが、2~3%に減少しました。ピロリ菌を持っている人は、ピロリ菌を持っていない人と比較して、胃がんになるリスクが5倍高くなると考えられています。

ピロリ菌に感染すると、数週間から数か月で慢性胃炎になり、その後、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃がん、胃ポリープ、胃MALTリンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病を発症する可能性が高くなります。

ピロリ菌の検査として、内視鏡検査が必要な検査(培養法、迅速ウレアーゼ試験、鏡検法)と、内視鏡検査が必要でない検査(尿素呼気検査、血清抗体測定法、便中ピロリ菌抗原検出法)があります。ピロリ菌を退治する治療の事を除菌治療と言い、除菌療法は、抗生素と胃酸分泌抑制剤を内服する治療で、保険適応されているのは胃潰瘍、十二指腸潰瘍、慢性胃炎、胃MALTリンパ腫、特発性血小板減少症、早期胃がんの内視鏡治療後です。胃の調子が悪い人、胃潰瘍、十二指腸潰瘍になった事がある人は、内視鏡検査とピロリ菌の検査を受けた方が良いと考えられています。

部署
紹介

回復期リハビリテーション病棟

6階病棟 看護科長 宮本 しのぶ

6階病棟は「回復期リハビリテーション病棟」です。脳卒中や大腿骨頸部骨折などで食事や排泄などの日常生活動作に介助が必要になった方に対して集中的にリハビリをおこなう病棟です。近隣の急性期病院から紹介を受け、60名の患者様が入院しています。

患者様が安心して退院できるよう医療と福祉の専門職が連携・協働しています。今の医療制度では、患者様を少しでも早く、住み慣れた地域へお返しすることが求められています。そのため、6階病棟では入院した翌日には多職種で総合回診をおこない、一週間以内には患者様の自宅訪問や入院期間を検討します。入院期間を決めるだけでなく、どうしたらその人が安心して退院できるかを考えます。

自宅訪問は看護師と介護福祉士で実施します。看護師は入院前の生活パターンや健康管理に関する課題の把握と家族への助言、介護福祉士は自宅環境の調査(段差の測定や間取り、生活動線の確認)をおこないます。この情報は各担当者へ伝達されリハビリの計画に役立てられます。また、約2年前から病棟スタッフによる病棟リハビリを導入しました。ラジオ体操の後、日替わりで決めた内容を提供します。筋力アップだけでなく精神面の活性化にもつながり患者様やスタッフから大変好評を得ています。

今後も、それぞれの職種が協働し、患者様やご家族の安全・安心・納得・満足いただける入院と退院支援を目指を取り組んでいきます。



平成31年度 新入職員歓迎会



去る4月20日(金)、新入職員歓迎会が「ロワジールホテル那覇」にて盛大に開催されました。平成31年度は、看護部6名、リハビリテーション科6名、環境整備課1名、在宅3名、の総勢16名の職員が入職致しました。歓迎会では、新入職員の自己紹介や決意表明、楽しい余興や美味しい食べ物が振舞われ、終始和やかな雰囲気となりました。

この季節“新たな仲間”が入り、職場の中も“新たな環境”となる事で身の引き締まる思いがします。新年度、気分一新に全職員一丸となり、地域の皆様に安全・安心・納得・満足頂ける医療を提供していくことが出来るよう、日々研鑽を積みながら頑張って参りたいと思います。



公文 愛子（5階西病棟）

病棟勤務は初めてで不慣れな事も多いですが、患者様一人一人と丁寧に向き合っていく様努力したいと思います。

小濱 匡弘（5階東病棟）

病院勤務は初めてなのですが、患者様に安心、安全な介護を提供できるように一生懸命頑張ります。

吉田 牧子（6階病棟）

早く職場環境に慣れ、チームの一員として貢献して行きたい。きれいな景色を見ながら仕事が出来て嬉しいです。

宮里 佳乃（リハビリテーション科）

新社会人としてのけじめをつけ、明るく精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。

阿賀嶺 賢和（リハビリテーション科）

職場環境にも慣れ、少しづつ仕事を覚えてきましたが、周りのスタッフに遅れをとらないように努めています。

内田 好美（ケアセンター
おもととよみの杜）

焦らない、自分に負けない。をモットーに日々奮闘中です。必ず実になる日が来る事を信じ53歳頑張ります。

平成31年度 4月新入職員紹介

国吉 由美（5階西病棟）

新たな年号と共に私にとって新しいチャレンジの始まりになりました。常に最善を尽くせる介護を目指します。

天久 末寿賀（6階病棟）

これから大浜第二病院の一員として、笑顔を忘れず頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

伊集 章（訪問リハビリ）

やりがいのある訪問リハビリという仕事の中で、利用者の笑顔と生活支援のため、全力を尽くしていきます。

金城 豊（リハビリテーション科）

仕事を覚えるだけではなく、コミュニケーションを取り、他職種との連携をとりスムーズに業務を行えるように頑張ります。

山城 忍（デイサービスセンター
とよみの杜）

理学療法士の山城忍です。中年ですが、経験を活かして頑張ります。よろしくお願いします。

當山 理己（リハビリテーション科）

患者様に寄り添い、信頼される言語聴覚士を目指します。精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。

稻福 幸乃（訪問看護）

とよみの杜に入ると森や滝、コイまで泳ぎ素晴らしい景色の中で仕事ができ、心も体もワクワクしています。

中村 典雄（環境整備課）

環境整備課に入職しました中村です。これまでの経験を活かしてより良い美化及び環境整備に従事し、自分自身もステップアップできるよう取り組んでまいります。



祝 おもととよみの杜 合同生年祝

今年の干支、猪年生まれの方々の無病息災を願い「トゥシビー(生年祝)」が盛大に開催されました。(昔は祝い事ではなく、厄払いを行った年だと言われています)

今回とよみの杜施設より 10 名の方々が参加され、華やかな衣装に身をまとい式典・余興を楽しめられておりました。

今後とも、皆さまのご健康・ご多幸をとよみの杜スタッフ一同、心よりお祈り申し上げます。

医療福祉課 謝敷 奈津子



第19回 おもととよみの杜合同研究発表会



平成 31 年 2 月 16 日に第 19 回おもととよみの杜合同研究発表会が開催されました。

各施設より 9 演題の発表が行われ、特別講演として、ヒューマンリソシア株式会社 支社長 日本防災機構 防災士の富永毅氏をお招きし、「地域・職場の防災を考える」をテーマにご講演を頂きました。

参加した 133 名のスタッフからは「普段聞けない災害時のトイレ事情が聞けて良かった。」「病院の備蓄品の場所が分かってよかった。日常生活の中で安全への注意を忘れない事の大切さを理解できた」等の感想があり、防災意識を高めるきっかけとなりました。



編集後記

もしもの時を考え、自身の終末について本人・ご家族の意思を尊重し繰り返し話し合う。

昨年、厚労省より示唆された「人生会議」に取り組んで一年が経過しました。

それぞれの思いに寄り沿える看護ケアを目標にスタッフ一同取り組んでいきます。

5階西 玉那霸

職員
募集!!

私たちと一緒に働きませんか。ブランクのある方でも復職支援研修でサポートします。主婦の方・中高年の方も大歓迎！お電話ください。

募集職種：薬剤師、看護師、准看護師、介護職員、調理スタッフ

TEL 098-851-0103 (総務課)



おもと会グループ
リクルートサイト